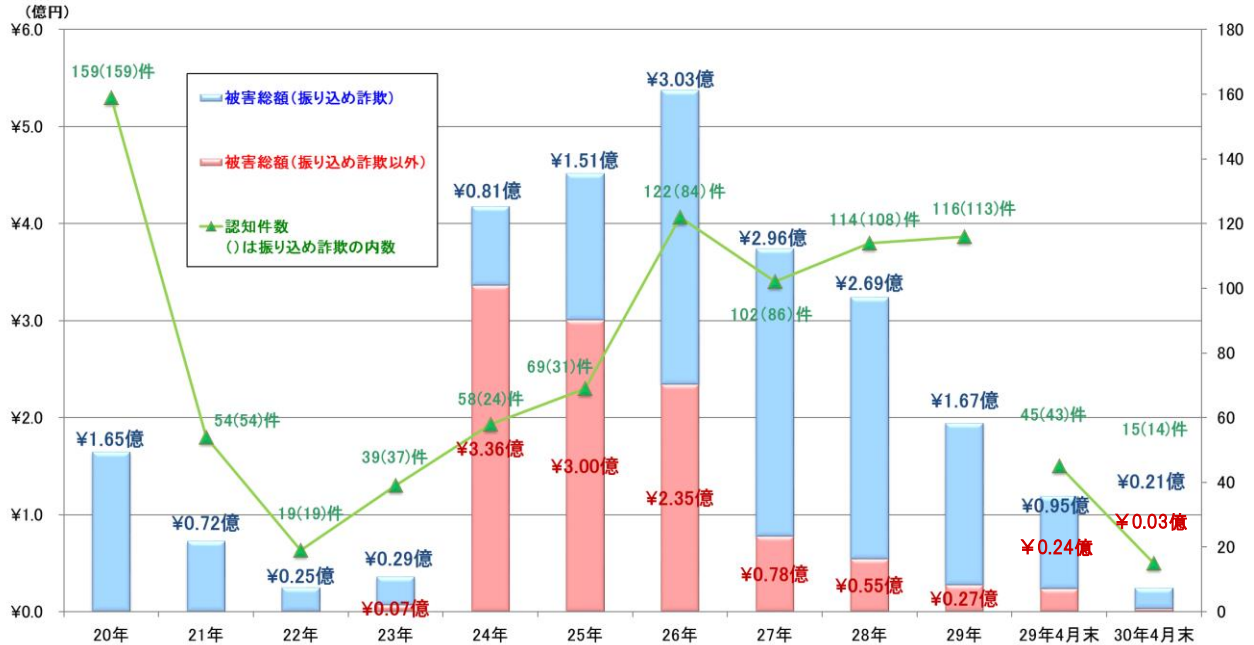


特殊詐欺の現状（平成 30 年 4 月末・暫定値）

1 認知状況の推移

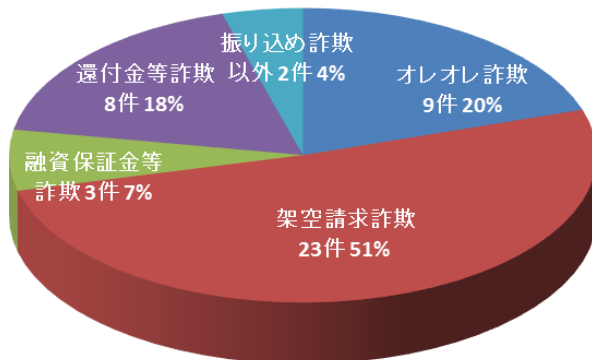


	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	29年4月末	30年4月末
認知件数(件)	159	54	19	39	58	69	122	102	114	116	45	15
被害総額(円)	164,648,368	72,467,324	24,863,582	35,811,777	417,635,389	451,456,105	537,329,506	374,047,674	323,908,477 (328,058,477)	194,361,159 (224,610,159)	119,183,775 (119,683,775)	24,480,060 (確認中)

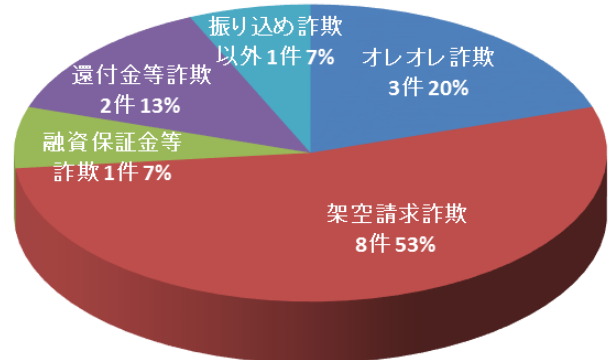
※かっこ内の数字はキャッシュカード手交型被害の払出額との合計
(前年同期比 認知件数-30 件、被害総額-9,470 万 3,715 円)

2 手口別認知状況

【平成 29 年 4 月末】



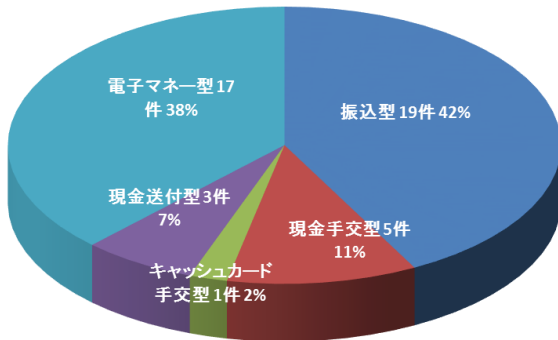
【平成 30 年 4 月末】



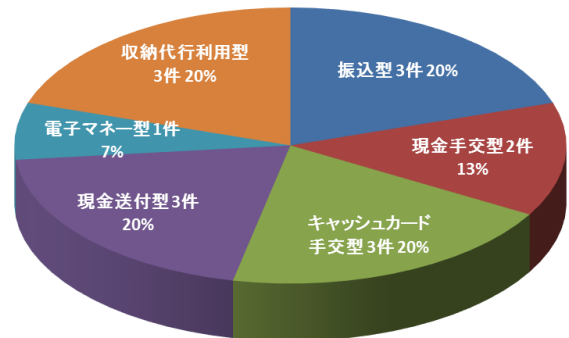
	オレオレ詐欺		架空請求詐欺		融資保証金詐欺		還付金等詐欺		振り込め詐欺以外		合計	
	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)	件数	被害総額(円)
4月末	3	800,000	8	18,684,000	1	0	2	1,996,060	1	3,000,000	15	24,480,060
前年比	-6	-23,300,000	-15	-27,357,504	-2	-18,054,278	-6	-5,269,933	-1	-20,722,000	-30	-94,703,715

3 交付形態

【平成 29 年 4 月末】

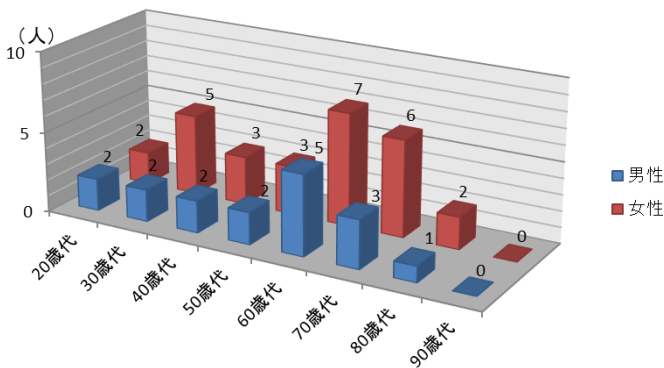


【平成 30 年 4 月末】

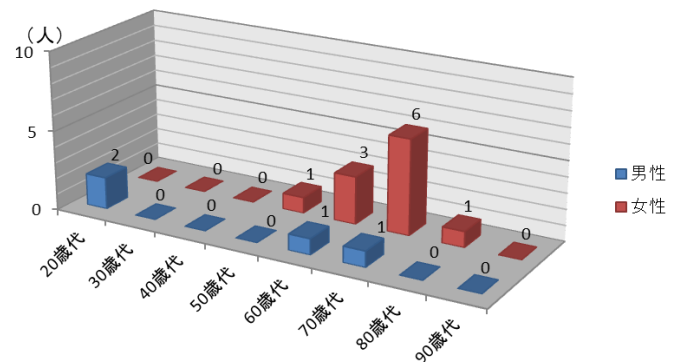


4 被害者の年齢・性別構成

【平成 29 年 4 月末】



【平成 30 年 4 月末】



5 最近の特徴

- 手口別認知状況では、架空請求詐欺が認知件数、被害額の過半数を占めており、特に、4月の1か月間の認知が8件、約2,000万円と急増した。
また、訴訟取り下げ費用をだまし取ろうとする架空請求詐欺のはがきが、県内に多数送付されていることを確認している。
- 交付形態としては、振込型と電子マネー型が減少した一方で、キャッシュカード手交型及び収納代行利用型が増加するとともに、架空請求詐欺の増加に伴い、現金送付型が増加しつつある。

6 金融機関等における被害阻止状況

【平成 29 年 4 月末】

件数	被害阻止額(円)
58	116,700,901

【平成 30 年 4 月末】

件数	被害阻止額(円)
78	31,238,659

(前年同期比 阻止件数+20件、阻止金額-8,546万2,242円)